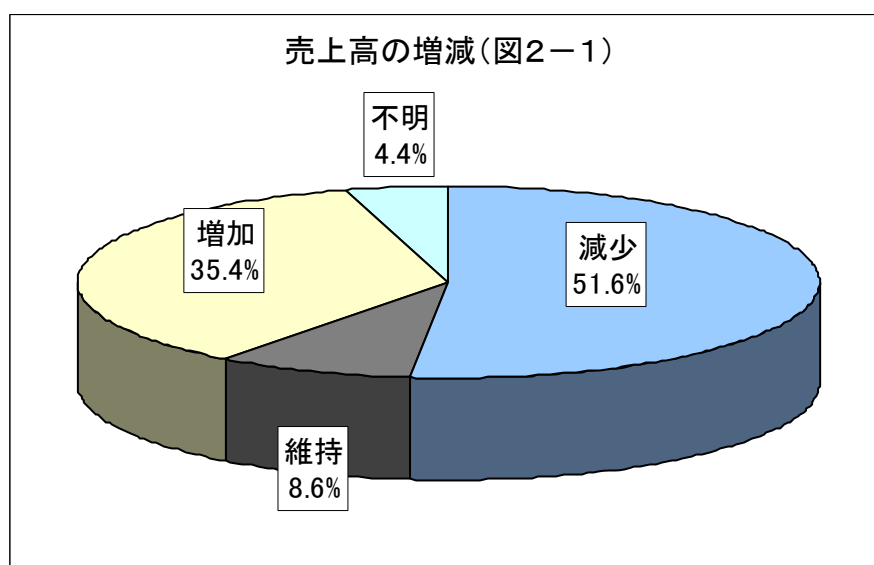


2 営業成績の状況

(1) 売上高の増減

仲卸業者全体のうち、前期に比べて売上高を増加又は維持した仲卸業者は44.0%であった。5割以上の仲卸業者が売上高を減少させているが、前年に比べて減少した業者の割合は10.3ポイント減少した。

※ 前年調査 減少61.9%、維持7.1%、増加26.6%、不明4.4%



売上高の増減を部類別に見ると、すべての部類で減少した業者が最も多い結果となった。

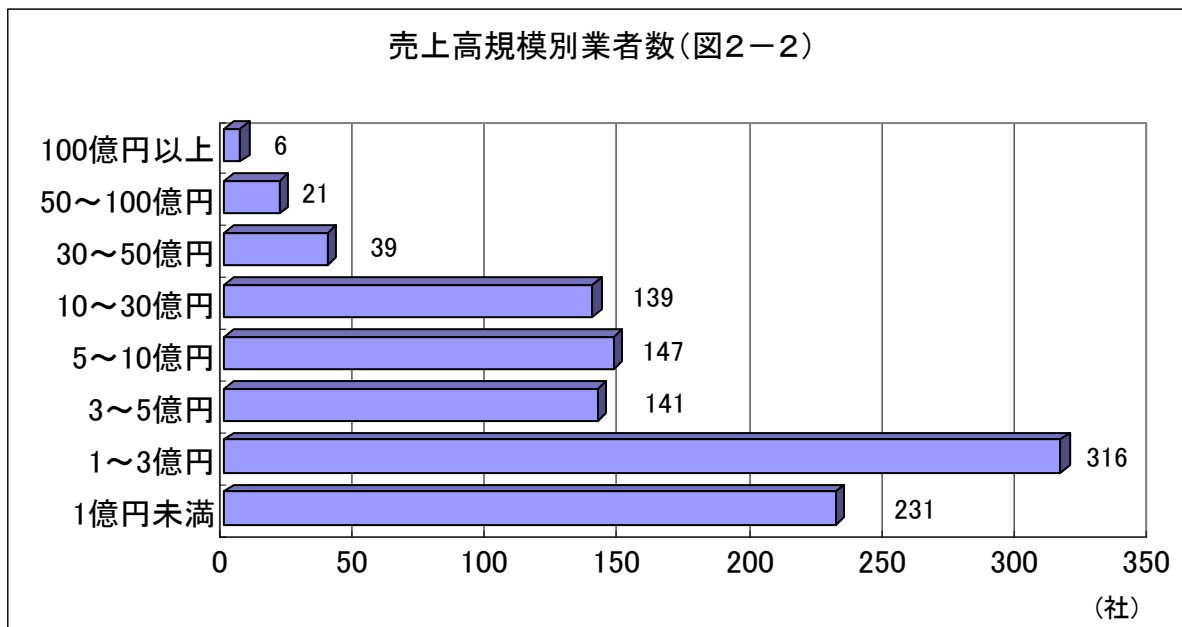
部類別・売上高の増減(表2-1)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	35.4%	8.6%	51.6%	4.4%
水産物部	33.9%	8.4%	52.1%	5.6%
青果部	38.7%	9.7%	49.3%	2.3%
花き部	43.2%	2.3%	52.2%	2.3%
食肉部	21.4%	10.7%	64.3%	3.6%

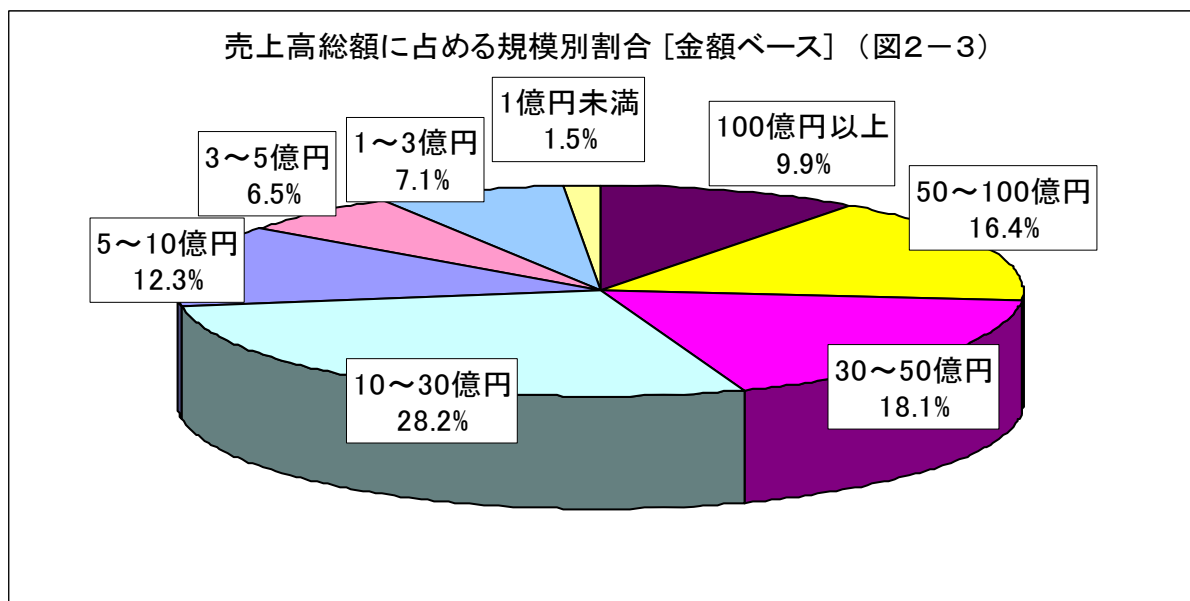
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(2) 売上高の規模別業者数

仲卸業者全体のうち、約半数（547社、52.6%）は、売上高が3億円未満の業者となっている。



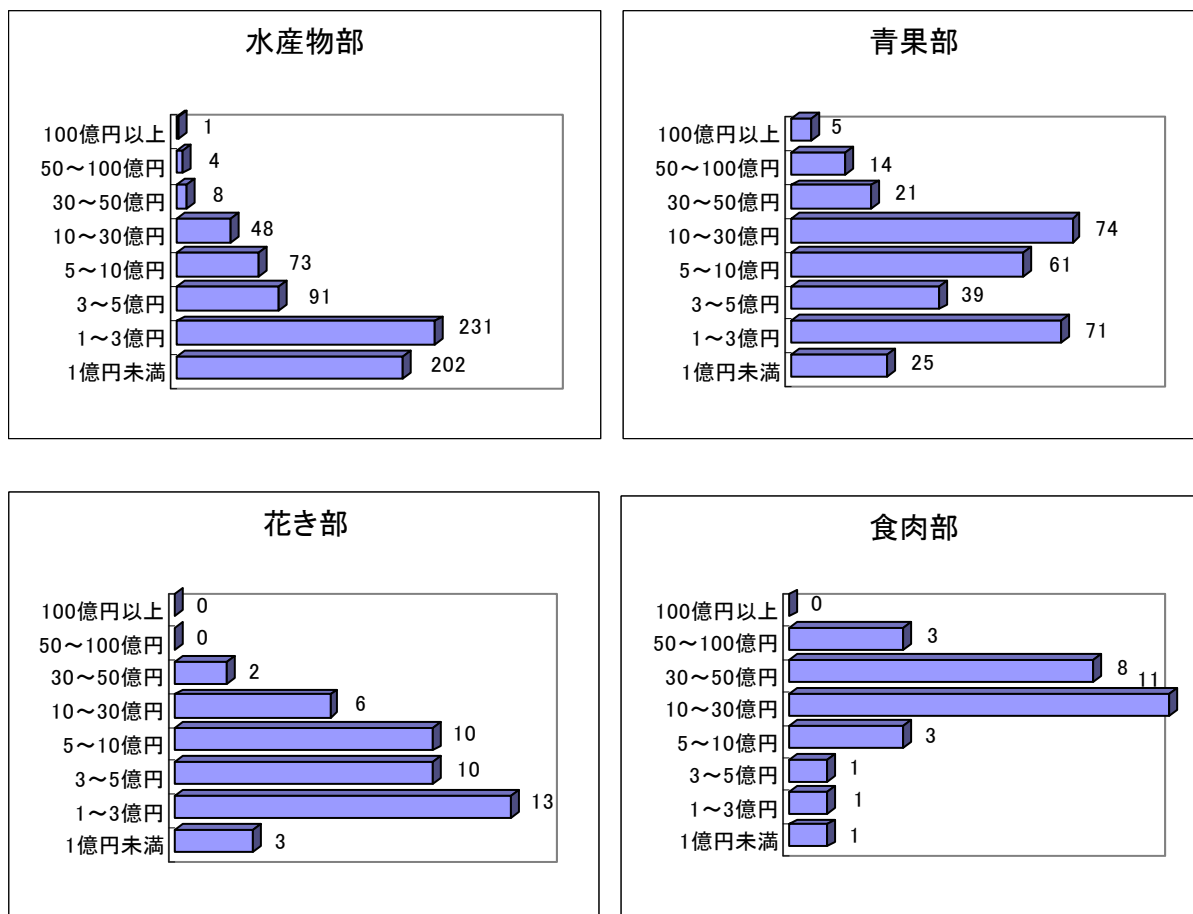
金額ベースにした売上高総額に占める規模別割合で見ると、約半数を占める3億円未満の業者のシェアは8.6%にすぎない。



(3) 売上高の規模別・部類別業者数

売上高の規模別で見ると、水産物部及び花き部では1億円～3億円の層が、青果部及び食肉部では10億円～30億円の層が最も多くなっている。

売上高規模別・部類別業者数 (図2-4)



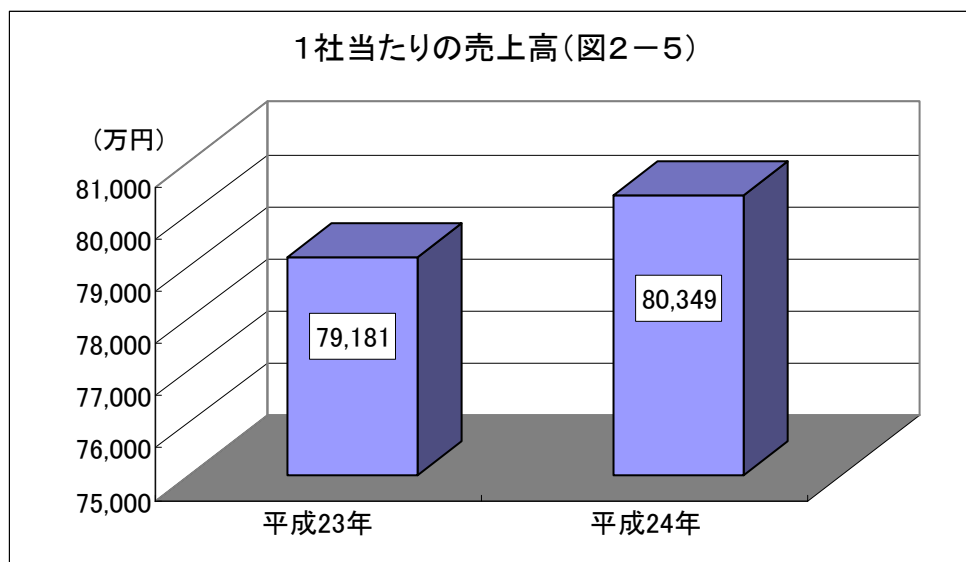
売上高規模別・部類別業者数(表2-2)

単位：社

	全 体	水 産 物 部	青 果 部	花 き 部	食 肉 部
100億円以上	6 (0.6%)	1 (0.2%)	5 (1.6%)	0 (-)	0 (-)
50～100億円	21 (2.0%)	4 (0.6%)	14 (4.5%)	0 (-)	3 (10.7%)
30～50億円	39 (3.7%)	8 (1.2%)	21 (6.8%)	2 (4.6%)	8 (28.5%)
10～30億円	139 (13.4%)	48 (7.3%)	74 (23.9%)	6 (13.6%)	11 (39.3%)
5～10億円	147 (14.1%)	73 (11.1%)	61 (19.7%)	10 (22.7%)	3 (10.7%)
3～5億円	141 (13.6%)	91 (13.8%)	39 (12.6%)	10 (22.7%)	1 (3.6%)
1～3億円	316 (30.4%)	231 (35.1%)	71 (22.9%)	13 (29.6%)	1 (3.6%)
1億円未満	231 (22.2%)	202 (30.7%)	25 (8.0%)	3 (6.8%)	1 (3.6%)
合 計	1,040	658	310	44	28

(4) 1社当たりの売上高

仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の7億9,181万円から8億349万円と、1,168万円(1.5%)増加した。



部類別に見ると、前年に比べ食肉部では減少したが、その他の部類では増加となった。

1社当たりの売上高(表2-3)

	平成23年	平成24年	増減率
全体	79,181 万円	80,349 万円	101.5 %
水産物部	41,726 万円	43,617 万円	104.5 %
青果部	140,991 万円	141,942 万円	100.7 %
花き部	71,162 万円	71,298 万円	100.2 %
食肉部	282,536 万円	275,857 万円	97.6 %

(5) 売上総利益率の変化

売上総利益率（いわゆる粗利益率）は、全体では前年に比べ0.14%下降した。部類別にみると、水産物部では下降し、その他の部類では上昇した。

売上総利益率（表2-4）

	平成23年	平成24年
全体	12.89%	12.75%
水産物部	15.40%	14.67%
青果部	11.82%	11.88%
花き部	16.65%	16.71%
食肉部	8.50%	8.94%

売上総利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、全体では5割近い業者が下降した。部類別にみると、青果部及び食肉部では上昇した業者が半数を超えた。その一方で、水産物部及び花き部では下降した業者が半数を超えた。

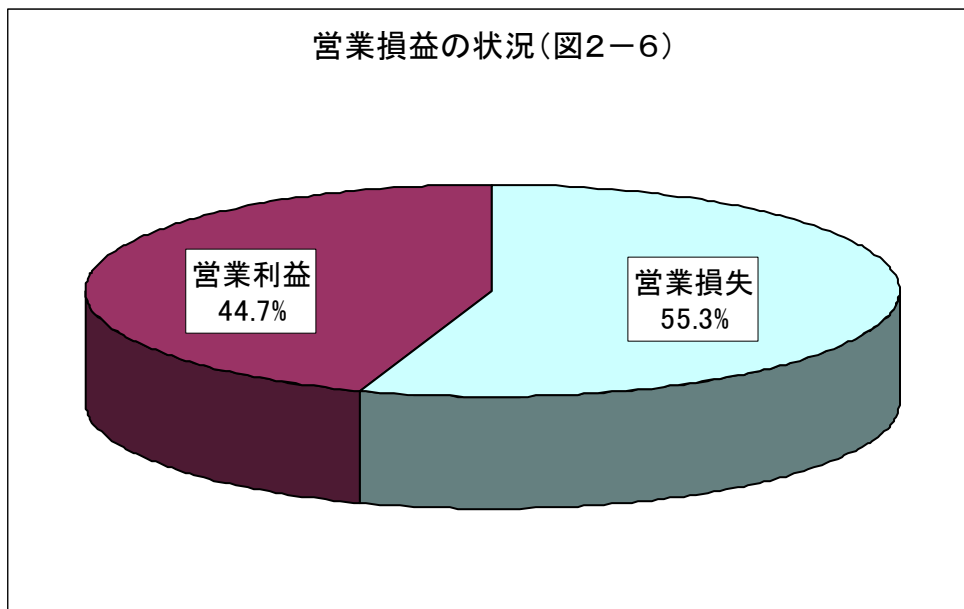
売上総利益率の変化（表2-5）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全体	46.6%	49.0%	4.4%
水産物部	42.7%	51.7%	5.6%
青果部	52.6%	45.1%	2.3%
花き部	47.7%	50.0%	2.3%
食肉部	71.4%	25.0%	3.6%

(6) 営業損益の状況

営業利益(黒字)を計上した業者が44.7%、営業損失(赤字)を計上した業者が55.3%と、赤字となった業者が多かったが、前年に比べると、損失を計上した業者が減少した。

※ 前年調査では、黒字：赤字 = 35.1%：64.9%



部類別に営業利益を計上した業者をみると、青果部及び花き部では半数以上の業者が黒字となっている一方、水産物部及び食肉部では半数以上の業者が赤字となっている。

営業損益の状況(表2-6)

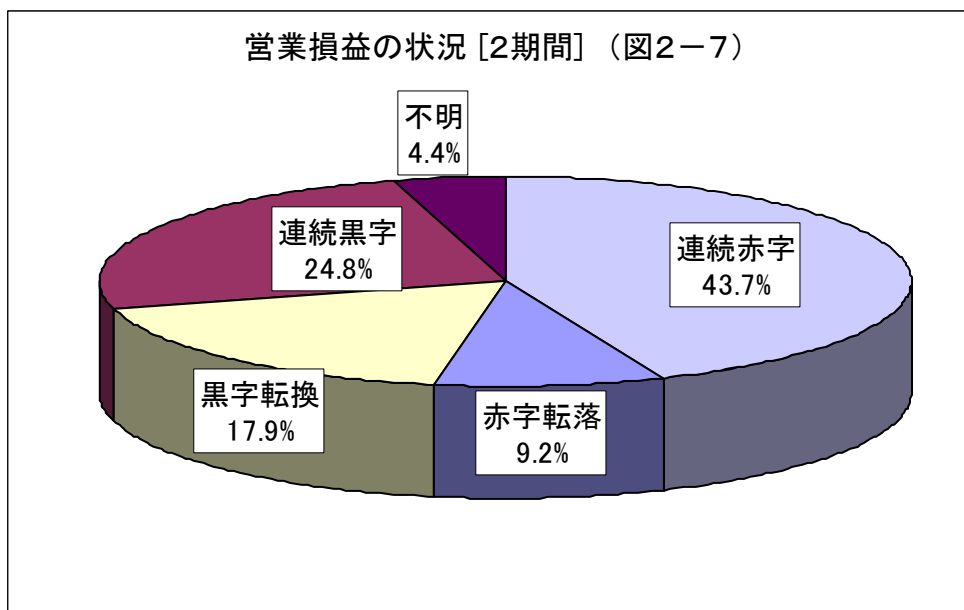
()内は前年調査の数値

	営業利益 [黒字業者]	営業損失 [赤字業者]
全体	44.7% (35.1%)	55.3% (64.9%)
水産物部	40.9% (30.3%)	59.1% (69.7%)
青果部	50.6% (41.6%)	49.4% (58.4%)
花き部	59.1% (56.8%)	40.9% (43.2%)
食肉部	46.4% (40.7%)	53.6% (59.3%)

(7) 営業損益の状況 (2期間)

営業損益が2期連続して黒字計上となった業者数は24.8%、連続赤字計上の業者は43.7%となった。黒字に転換した業者は17.9%、赤字に転落した業者は9.2%となった。

※ 前年調査 連続黒字24.8%、連続赤字45.6%、黒字転換9.1%、赤字転落16.8%



部類別でみると、2期連続黒字となった業者は、最も多い花き部で36.4%であった。また、黒字に転換した業者の割合及び赤字に転落した業者の割合も花き部が最も多くなった。

営業損益の状況 (2期間) (表2-7)

()内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全体	24.8% (24.8%)	17.9% (9.1%)	9.2% (16.8%)	43.7% (45.6%)	4.4% (3.7%)
水産物部	20.1% (21.2%)	18.4% (8.4%)	8.8% (18.7%)	47.1% (48.6%)	5.6% (3.1%)
青果部	33.6% (29.2%)	15.8% (10.2%)	7.7% (11.4%)	40.6% (43.8%)	2.3% (5.4%)
花き部	36.4% (40.9%)	22.7% (15.9%)	20.4% (18.2%)	18.2% (25.0%)	2.3% (0.0%)
食肉部	21.4% (37.1%)	21.4% (3.7%)	17.9% (29.6%)	35.7% (29.6%)	3.6% (0.0%)

(8) 営業利益率の変化

営業利益率は、全体としては前年に比べ上昇した。部類ごとにみると、水産物部では数値は改善されているがマイナスであり、青果部は若干上昇、花き部は上昇しプラス転換した。食肉部は下降しマイナスとなった。

営業利益率（表 2 - 8）

	平成 23 年	平成 24 年
全 体	0.03 %	0.16 %
水産物部	△0.83 %	△0.32 %
青果部	0.50%	0.52%
花き部	△0.03 %	0.28 %
食肉部	0.43 %	△0.17 %

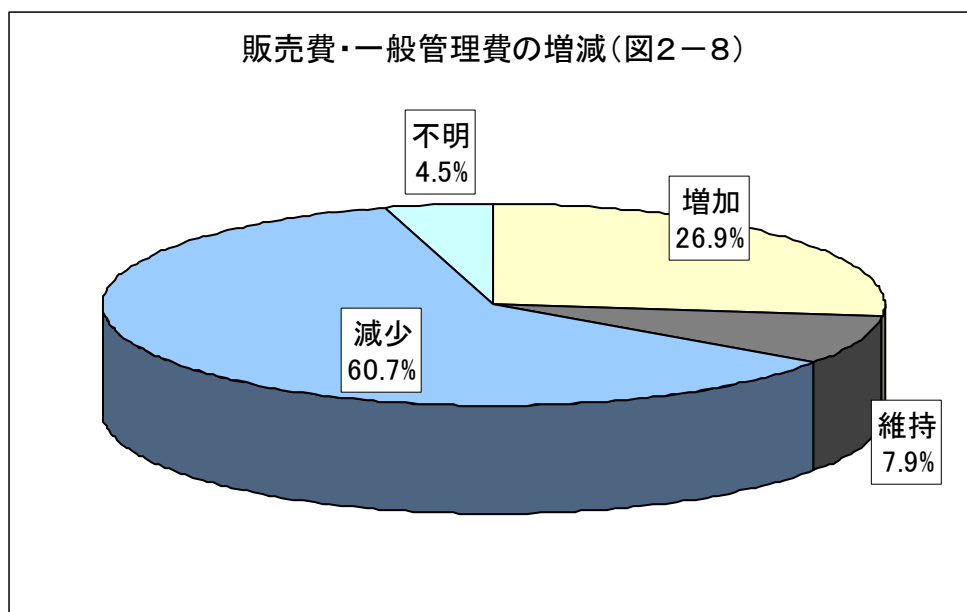
営業利益率の変化を上昇した業者数と下降した業者数の割合で見ると、全ての部類で上昇した業者が半数以上となった。

営業利益率の変化（表 2 - 9）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	54.9 %	40.7 %	4.4 %
水産物部	54.9 %	39.5 %	5.6 %
青果部	55.1 %	42.6 %	2.3 %
花き部	56.8 %	40.9 %	2.3 %
食肉部	50.0 %	46.4 %	3.6 %

(9) 販売費及び一般管理費の増減

販売費及び一般管理費（以下、「販管費」）が減少した業者は60.7%であり、増加した業者は26.9%となった。



食肉部では販管費が増加した業者が減少した業者を上回った。その他の部類では、販管費が減少した業者が増加した業者を大きく上回った。

販売費・一般管理費の増減（表2-10）

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	26.9 %	7.9 %	60.7 %	4.5 %
水産物部	21.1 %	6.7 %	66.6 %	5.6 %
青果部	35.8 %	9.7 %	51.9 %	2.6 %
花き部	38.6 %	11.4 %	47.7 %	2.3 %
食肉部	46.4 %	10.7 %	39.3 %	3.6 %

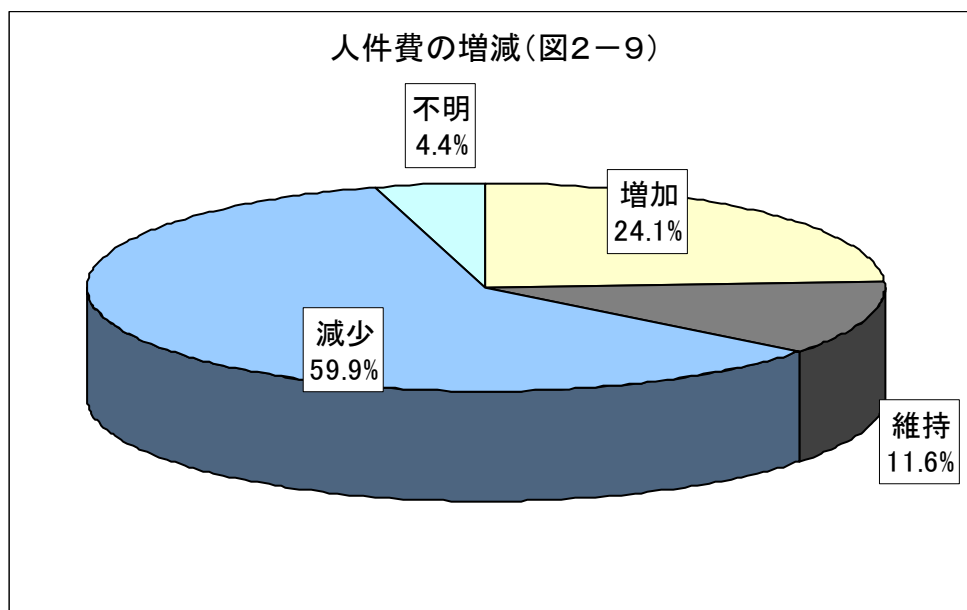
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(10) 人件費の増減

販管費の大半を占める人件費（※）が減少した業者は59.9%、増加した業者は24.1%、維持した業者は11.6%となり、前年同様、減少した業者が増加した業者を大きく上回った。

※ 人件費とは、役員報酬、給与手当、福利厚生費、退職共済掛金など

※ 前年調査 減少55.1%、維持12.4%、増加29.0%、不明3.5%



部類別に見ると、全ての部類で減少した業者が増加した業者を上回った。

人件費の増減（表2-11）

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	24.1%	11.6%	59.9%	4.4%
水産物部	19.3%	10.5%	64.6%	5.6%
青果部	32.2%	15.5%	50.0%	2.3%
花き部	29.5%	6.8%	61.4%	2.3%
食肉部	35.7%	3.6%	57.1%	3.6%

※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(11) 人件費比率の変化

売上高対人件費比率は、全体では前年に比べ減少している。部類別に見ると、食肉部は増加し、その他の部類は減少している。

売上高対人件費比率（表2-12）

	平成23年	平成24年
全体	7.18%	6.90%
水産物部	9.92%	9.06%
青果部	5.96%	5.86%
花き部	9.60%	9.14%
食肉部	3.50%	3.85%

売上総利益対人件費比率は、全体では前年に比べ減少している。部類別に見ると、食肉部は増加し、その他の部類は減少している。

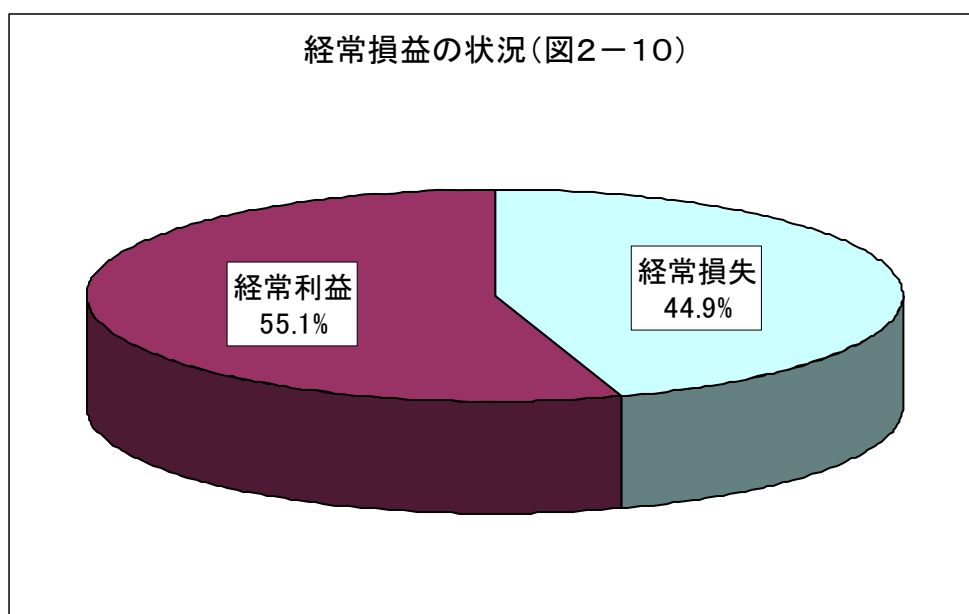
売上総利益対人件費比率（表2-13）

	平成23年	平成24年
全体	55.74%	54.12%
水産物部	64.38%	61.76%
青果部	50.39%	49.35%
花き部	57.66%	54.73%
食肉部	41.16%	43.10%

(12) 経常損益の状況

経常利益(黒字)を計上した業者の割合が55.1%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合が44.9%と、前年に比べ赤字業者の割合が10.5ポイント減少した。

※ 前年調査では、黒字：赤字 = 44.6%：55.4%



前年と比較すると、水産物部及び青果部において黒字業者の割合が増加したが、花き部は前年と変わらず、食肉部では下降した。食肉部は赤字業者の割合が5割となった。

経常損益の状況(表2-14)

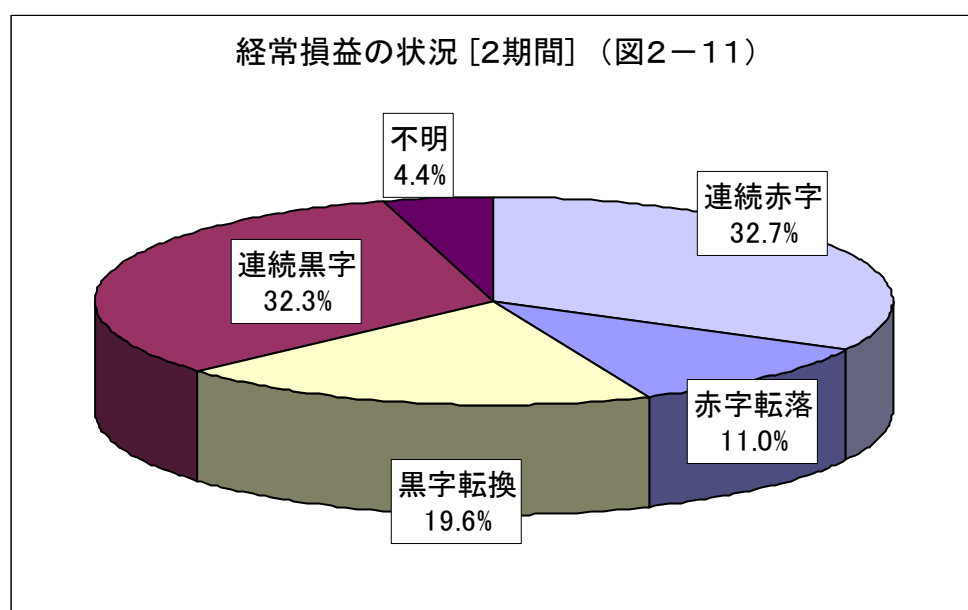
() 内は前年調査の数値

	経常利益 [黒字業者]	経常損失 [赤字業者]
全体	55.1% (44.6%)	44.9% (55.4%)
水産物部	51.8% (38.4%)	48.2% (61.6%)
青果部	60.6% (53.0%)	39.4% (47.0%)
花き部	68.2% (68.2%)	31.8% (31.8%)
食肉部	50.0% (59.3%)	50.0% (40.7%)

(13) 経常損益の状況 (2期間)

経常損益が2期連続して黒字計上となった業者の割合は32.3%となり、前年と比べ若干上昇した。一方で、2期連続して赤字を計上した業者の割合は32.7%となり、前年に比べると減少した。また、黒字に転換した業者の割合が19.6%、赤字に転落した業者の割合が11.0%となった。

※ 前年調査 連続黒字31.7%、連続赤字36.3%、黒字転換11.2%、赤字転落16.6%



部類別では、連続黒字業者の割合は花き部が52.3%と5割を超えているが、その他の部類では5割に届かなかった。

経常損益の状況 (2期間) (表2-15)

() 内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全体	32.3% (31.9%)	19.6% (11.2%)	11.0% (16.9%)	32.7% (36.3%)	4.4% (3.7%)
水産物部	26.6% (27.2%)	21.3% (10.4%)	10.2% (18.7%)	36.3% (40.5%)	5.6% (3.2%)
青果部	41.3% (36.8%)	17.4% (13.0%)	11.0% (13.3%)	28.0% (31.4%)	2.3% (5.5%)
花き部	52.3% (52.3%)	15.9% (15.9%)	15.9% (13.6%)	13.6% (18.2%)	2.3% (—)
食肉部	35.7% (55.6%)	10.7% (3.7%)	21.4% (18.5%)	28.6% (22.2%)	3.6% (—)

(14) 経常利益率の変化

経常利益率を見ると、全体では0.17%から0.46%へと上昇した。部類ごとにみると、食肉部でわずかに下降したもののその他の部類では大きく上昇した。

経常利益率（表2-16）

	平成23年	平成24年
全体	0.17%	0.46%
水産物部	△0.44%	0.10%
青果部	0.59%	0.79%
花き部	△0.05%	0.39%
食肉部	△0.02%	△0.03%

経常利益率の変化を上昇した業者数と下降した業者数の割合で見ると、食肉部では下降した業者が上昇した業者を上回っているが、その他の部類においては半数以上の業者が上昇した。

経常利益率の変化（表2-17）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全体	55.1%	40.5%	4.4%
水産物部	55.5%	38.9%	5.6%
青果部	54.5%	43.2%	2.3%
花き部	61.3%	36.4%	2.3%
食肉部	42.8%	53.6%	3.6%

(15) 従事員1人当たり売上高

従事員1人当たり売上高は、水産物部及び青果部において増加したが、花き部及び食肉部では減少している。

従事員1人当たり売上高(表2-18)

	平成23年	平成24年
全体	7,471 万円	7,718 万円
水産物部	5,230 万円	5,654 万円
青果部	9,376 万円	9,502 万円
花き部	4,862 万円	4,725 万円
食肉部	17,699 万円	16,939 万円

従事員1人当たり売上高の増減を業者数の割合で見ると、全体では減少した業者が若干多かった。部類別にみると、水産物部及び花き部では増加した業者が上回ったが、青果部及び食肉部では減少した業者の方が5割以上となっている。

従事員1人当たり売上高の増減(表2-19)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	47.5 %	47.7 %	4.8 %
水産物部	49.3 %	44.8 %	5.9 %
青果部	44.8 %	52.3 %	2.9 %
花き部	50.0 %	47.7 %	2.3 %
食肉部	32.1 %	64.3 %	3.6 %

(16) 従事員1人当たり売上総利益

従事員1人当たり売上総利益を見ると、花き部では減少し、その他の部類においては増加した。

従事員1人当たり売上総利益(表2-20)

	平成23年	平成24年
全体	963 万円	984 万円
水産物部	806 万円	829 万円
青果部	1,108 万円	1,128 万円
花き部	809 万円	789 万円
食肉部	1,504 万円	1,515 万円

従事員1人当たり売上総利益の増減を増加した業者数と減少した業者数の割合でみると、全体では減少した業者が多かった。部類別にみると、水産物部は減少した業者が、その他の部類では増加した業者が多かった。

従事員1人当たり売上総利益の増減(表2-21)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	47.2 %	48.0 %	4.8 %
水産物部	45.5 %	48.6 %	5.9 %
青果部	49.4 %	47.7 %	2.9 %
花き部	54.5 %	43.2 %	2.3 %
食肉部	53.5 %	42.9 %	3.6 %

(17) 従事員1人当たり人件費

従事員1人当たり人件費をみると、食肉部では増加したが、花き部は減少した。水産物部及び青果部では大きな変化はなかった。

従事員1人当たり人件費(表2-22)

	平成23年	平成24年
全体	537 万円	532 万円
水産物部	519 万円	512 万円
青果部	559 万円	557 万円
花き部	467 万円	432 万円
食肉部	619 万円	653 万円

部類別に従事員1人当たり人件費の増減を増加した業者数と減少した業者数の割合で見ると、花き部を除き、その他の部類では減少した業者の割合が5割以上となった。

従事員1人当たり人件費の増減(表2-23)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	39.7 %	55.5 %	4.8 %
水産物部	36.6 %	57.5 %	5.9 %
青果部	45.2 %	51.9 %	2.9 %
花き部	50.0 %	47.7 %	2.3 %
食肉部	35.7 %	60.7 %	3.6 %